

第1回社会保障審議会 人口構造の変化に関する特別部会	資料3-3
平成18年11月21日	

国民の結婚、出生に関する希望

# 結婚、出産に関する国民の希望

## 結婚に関する希望

平成14年中位推計の生涯未婚率 16.8% (1985年生、女性)

結婚意欲のある未婚者の割合

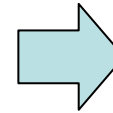
	男性	女性
18~34歳	87.0%	90.0%
18~19歳	88.4%	89.5%
20~24歳	87.7%	91.5%

出典: 第13回出生動向基本調査(2005)

配偶者のいる者の割合

	男性	女性
18~34歳	27.2%	36.0%
18~19歳	0.8%	1.6%
20~24歳	6.2%	10.4%

出典: 平成17年国勢調査結果



希望が全て実現した場合  
生涯未婚率(女性) 10%以下

## 子どもに関する希望

平成14年中位推計の夫婦完結出生児数 1.72人 (1985年生)

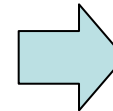
結婚意欲のある未婚者の  
希望子供数

	男性	女性
18~34歳	2.07	2.10
18~19歳	2.15	2.23
20~24歳	2.11	2.18

出典: 第13回出生動向基本調査(2005)

夫婦の理想、予定子供数

結婚持続期間	理想	予定
総数	2.48	2.11
0~4年	2.30	2.05
5~9年	2.41	2.05



希望が全て実現した場合  
夫婦完結出生児数 2.0以上

合計特殊出生率 = (1 - 生涯未婚率) × 夫婦完結出生児数 × 離死別効果係数

平成14年中位推計 (1 - 16.8%) × 1.72人 × 0.971 …… 1.39 (1985年生)

潜在出生率 ( ? ) × ? × ? …… ?

※ 潜在出生率 : 国民の結婚、出産に関する希望が全て実現した場合の出生率

第13回出生動向基本調査  
結婚と出産に関する全国調査  
独身者調査の結果概要  
(一部抜粋)

国立社会保障・人口問題研究所

# 1. 結婚という選択 - 若者たちの結婚離れを探る -

## (1) 結婚の意欲

### 結婚する意思をもつ未婚者は9割で推移

いずれは結婚しようとする未婚者の割合は、近年わずかずつ減る傾向にあったが、前回調査(2002年)以降下げ止まりが見られ、今回調査でも男女とも9割程度で推移している。逆に「一生結婚するつもりはない」とする未婚者は男性でやや増えて7%台となったが、女性では5%台にとどまっている。

表1-1 調査別にみた、未婚者の生涯の結婚意思

【 男 性 】						
生涯の結婚意思	第8回調査 (1982年)	第9回 (1987年)	第10回 (1992年)	第11回 (1997年)	第12回 (2002年)	第13回 (2005年)
いずれ結婚するつもり	95.9 %	91.8	90.0	85.9	87.0	87.0
一生結婚するつもりはない	2.3	4.5	4.9	6.3	5.4	7.1
不詳	1.8	3.7	5.1	7.8	7.7	5.9
総数(18~34歳) (標本数)	100.0 % (2,732)	100.0 (3,299)	100.0 (4,215)	100.0 (3,982)	100.0 (3,897)	100.0 (3,139)

【 女 性 】						
生涯の結婚意思	第8回調査 (1982年)	第9回 (1987年)	第10回 (1992年)	第11回 (1997年)	第12回 (2002年)	第13回 (2005年)
いずれ結婚するつもり	94.2 %	92.9	90.2	89.1	88.3	90.0
一生結婚するつもりはない	4.1	4.6	5.2	4.9	5.0	5.6
不詳	1.7	2.5	4.6	6.0	6.7	4.3
総数(18~34歳) (標本数)	100.0 % (2,110)	100.0 (2,605)	100.0 (3,647)	100.0 (3,612)	100.0 (3,494)	100.0 (3,064)

設問「自分の一生を通じて考えた場合、あなたの結婚に対するお考えは、次のうちのどちらですか。」

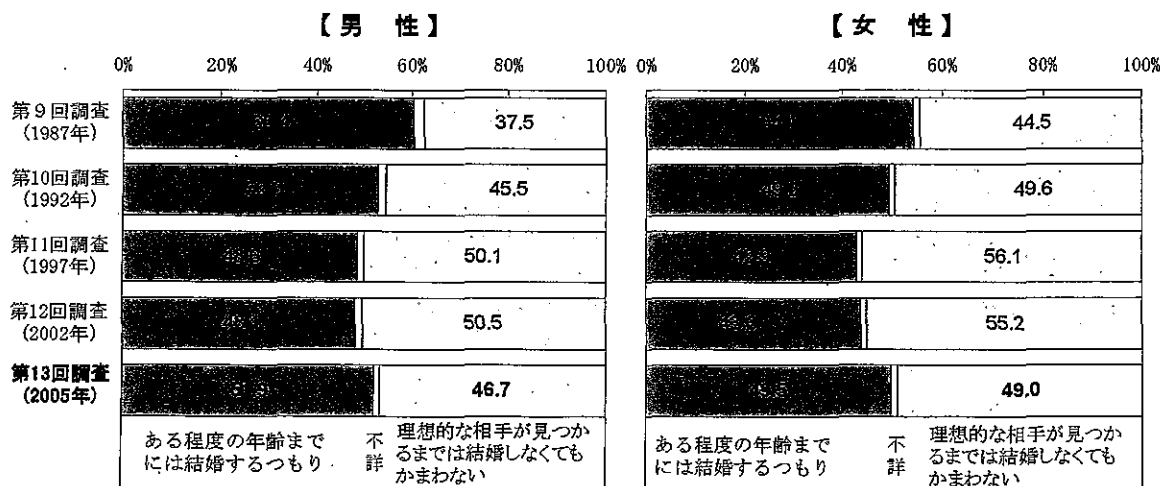
1. いずれ結婚するつもり、2. 一生結婚するつもりはない

注：対象は18~34歳未婚者。年齢別の詳細な数値は付表1(巻末)参照。

### 結婚年齢にこだわる未婚者が増える

結婚する意思のある未婚者のうち「ある程度の年齢までには結婚したい」と考える者は、近年減少傾向にあったが、前回調査(2002年)から傾向が変わり、今回はやや持ち直して「理想の相手が見つかるまでは結婚しなくてもかまわない」とする者と五分五分の構成に戻った。

図1-1 調査別にみた、結婚意思をもつ未婚者の結婚に対する考え方



注：対象は「いずれ結婚するつもり」と答えた18~34歳未婚者。詳細な数値は付表2(巻末)参照。

## 結婚を先のぼしする意識は継続

一年以内の結婚について「まだ結婚するつもりはない」と回答した未婚者は、女性20歳代後半を除き増加傾向にあり、結婚を先のぼしする意識は引き続き増加する傾向にある。

表1-2 調査・年齢別にみた、「まだ結婚するつもりはない」と回答した未婚者の割合

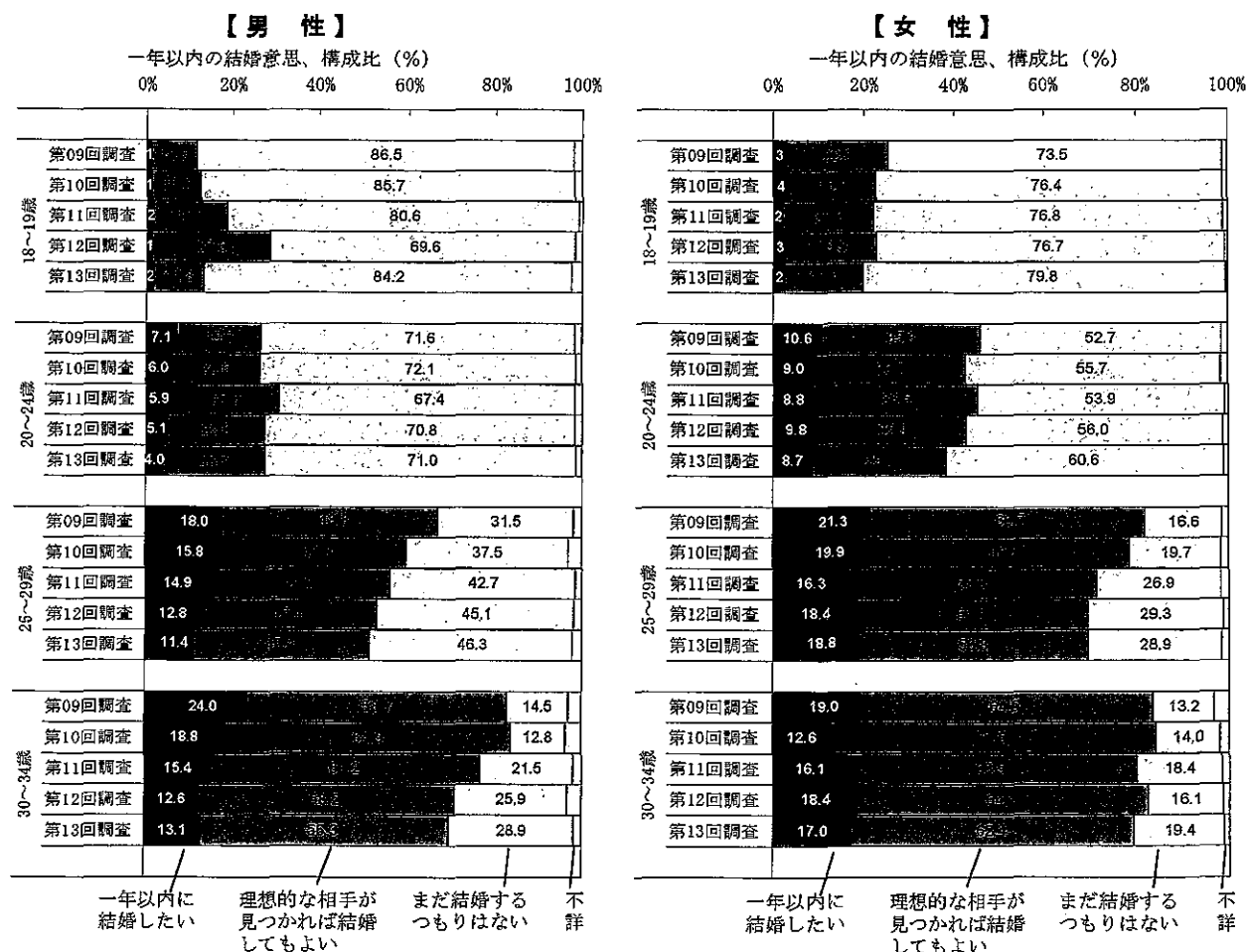
年 齢	【 男 性 】					【 女 性 】				
	第9回調査 (1987年)	第10回 (1992年)	第11回 (1997年)	第12回 (2002年)	第13回 (2005年)	第9回調査 (1987年)	第10回 (1992年)	第11回 (1997年)	第12回 (2002年)	第13回 (2005年)
18～19歳	86.5%	85.7	80.6	69.6	<b>84.2</b>	73.5%	76.4	76.8	76.7	<b>79.8</b>
20～24歳	71.6	72.1	67.4	70.8	<b>71.0</b>	52.7	55.7	53.9	56.0	<b>60.6</b>
25～29歳	31.5	37.5	42.7	45.1	<b>46.3</b>	16.6	19.7	26.9	29.3	<b>28.9</b>
30～34歳	14.5	12.8	21.5	25.9	<b>28.9</b>	13.2	14.0	18.4	16.1	<b>19.4</b>
総数(18～34歳)	57.3%	59.3	56.5	55.9	<b>56.0</b>	49.5%	50.7	47.7	46.3	<b>48.8</b>
参考(35～39歳)	—	9.8	13.9	20.6	<b>22.3</b>	—	12.6	13.6	16.0	<b>12.8</b>

設問「それでは今から一年以内の結婚に関してはどうにお考えですか。」

1.一年以内に結婚したい、2.理想的な相手が見つければ結婚してもよい、3.まだ結婚するつもりはない。

注：対象は「いずれ結婚するつもり」と答えた18～34歳未婚者。「一年以内に結婚したい」「理想的な相手が見つければ結婚してもよい」と回答した割合については付表3(巻末)参照。なお、参考として第10回調査以降について35～39歳の状況を示した。

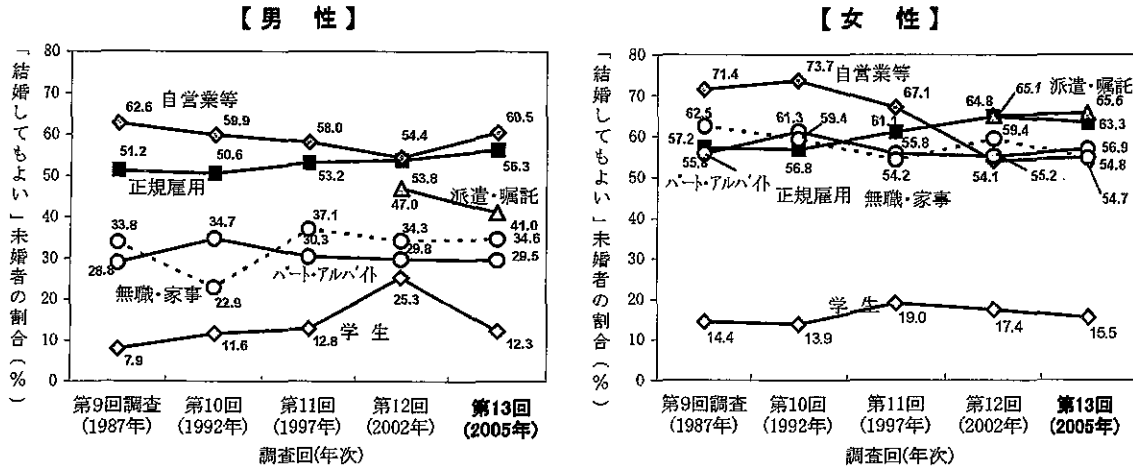
図1-2 調査・年齢別にみた、一年以内の結婚意思



### 男性では就業の状況によって結婚意欲が異なる

「いずれ結婚するつもり」と回答した未婚者の中で「一年以内に結婚したい」または「理想的な相手が見つれば結婚してもよい」と回答した未婚者の割合は、男性では就業の状況によって著しく異なる。自営業・家族従業等、正規雇用者で結婚してもよいと考える未婚者が多い。非正規就業者(パート・アルバイト)は無職・家事の人よりも結婚意欲が低い傾向にある。女性では学生を除くと男性ほどの差は見られないが、従来結婚意欲の高かった自営業・家族従業等の従事者で後退が見られ、相対的に正規雇用者、派遣・嘱託などの未婚者で意欲が高くなっている。

図1-3 就業の状況別にみた、一年以内に結婚してもよいと考える未婚者割合の推移



注：本図の数値は「いずれ結婚するつもり」と回答した18～34歳の未婚者の中で「一年以内に結婚したい」または「理想的な相手が見つれば結婚してもよい」と回答した未婚者の割合。派遣・嘱託の区分は第12回調査以降で追加された。就業の状況の構成については付表5(巻末)参照。

### (2) 結婚の利点・独身の利点

#### 「結婚には利点がある」と考える未婚者がやや増える

結婚することに利点があると感じている未婚男女はやや増えて、男性65.7%、未婚女性74.0%となった。逆に利点はないと考えているのは男性の28.6%、女性の21.5%である。一方、独身生活に利点があると考えてる人は男性83.8%、女性87.2%と、結婚に利点を感じる割合よりかなり多く、こちらも今回やや増えた。

表1-3 調査別にみた、未婚者の結婚の利点・独身生活の利点に対する考え

		【男性】					【女性】				
		第9回調査 (1987年)	第10回 (1992年)	第11回 (1997年)	第12回 (2002年)	第13回 (2005年)	第9回調査 (1987年)	第10回 (1992年)	第11回 (1997年)	第12回 (2002年)	第13回 (2005年)
今のあなたにとって結婚することは	利点があると思う	69.1%	66.7	64.6	62.3	65.7	70.8%	71.4	69.9	69.4	74.0
	利点はないと思う	25.4	29.1	30.3	33.1	28.6	24.7	25.2	25.5	26.3	21.5
	不詳	5.5	4.2	5.1	4.6	5.7	4.5	3.4	4.6	4.3	4.5
合計		100.0%	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0%	100.0	100.0	100.0	100.0
今のあなたにとって独身生活は	利点があると思う	83.0%	83.6	82.7	79.8	83.8	89.7%	89.0	88.5	86.6	87.2
	利点はないと思う	10.7	11.2	11.6	14.6	10.3	5.4	7.4	7.2	8.6	7.6
	不詳	6.3	5.2	5.7	5.6	5.9	4.9	3.6	4.3	4.8	5.1
合計		100.0%	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0%	100.0	100.0	100.0	100.0
(標本数)		(3,299)	(4,215)	(3,982)	(3,897)	(3,130)	(2,605)	(3,647)	(3,612)	(3,494)	(3,084)

設問：「今のあなたにとって、結婚することは何か利点があると思いますか。」 1. 利点があると思う、2. 利点はないと思う、  
「それでは逆に今のあなたにとって、独身生活には結婚生活にはない利点があると思いますか。」

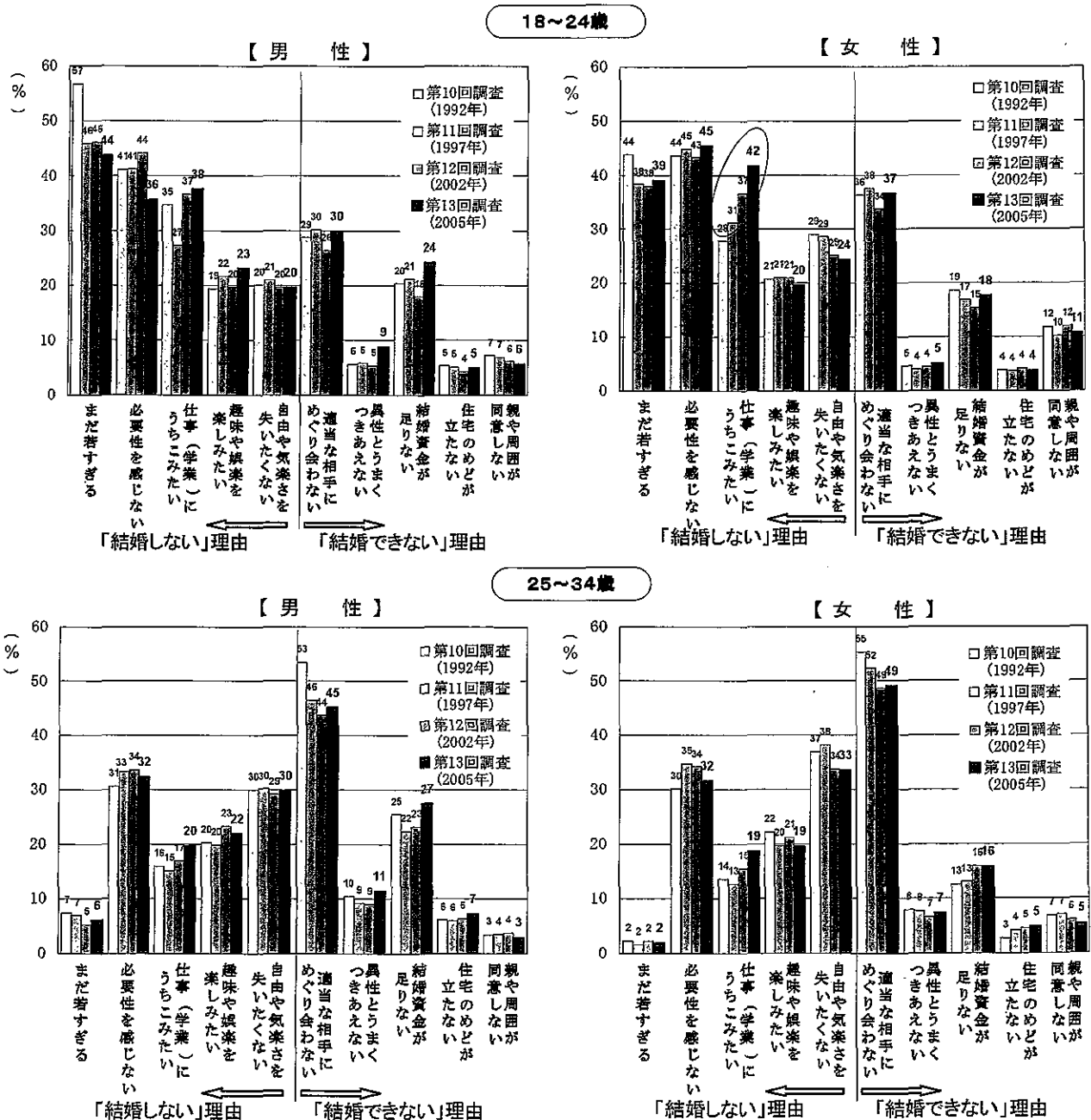
1. 利点があると思う、2. 利点はないと思う  
注：対象は18～34歳未婚者。

### (3) なぜ結婚しないのか？

#### 結婚をする積極的理由の欠如や、25歳を過ぎると適当な相手がいないことが制約

未婚者に現在独身にとどまっている理由をたずねたところ、25歳未満の若い年齢層では「まだ若すぎる」「必要性を感じない」などの結婚の必然性の欠如や「仕事（学業）」「趣味や娯楽」などの競合するものの存在、さらには「自由や気楽さを失いたくない」など、結婚をする積極的理由の欠如を意味する項目が多く選ばれている。しかし、25歳以上になると「適当な相手にまだめぐり合わない」という理由を挙げる者が半数程度いる。ただ、この年齢に至っても「必要性を感じない」「自由や気楽さを失いたくない」を選ぶ者は多く、とくに後者は若い年齢層よりも多く選ばれている。今回調査では「適当な相手にめぐり合わない」、男性で「結婚資金が足りない」などがこれまでの減少傾向に反して増えるなど、全般にやや傾向が変わった一方で「仕事（学業）にうちこみたい」は若い年齢層を中心に着実に増えており、とりわけ女性で顕著である。

図1-9 年齢階層別にみた独身にとどまっている理由



注：未婚者のうち何%の人が各項目を独身にとどまっている理由（三つまで選択）として挙げているかを示す。

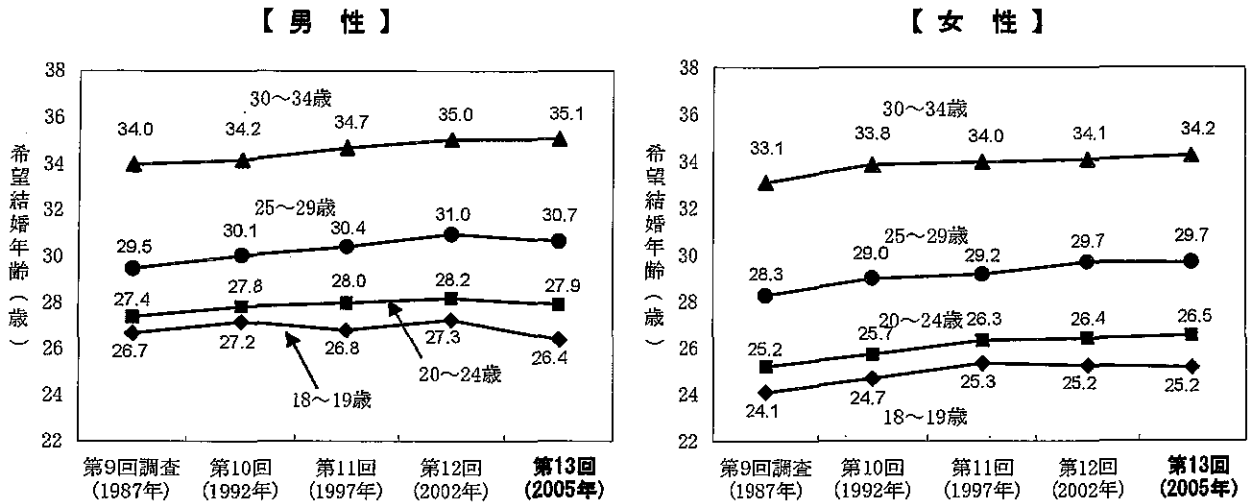
### 3. 希望の結婚像—どんな結婚を求めているのか—

#### (1) 希望する結婚年齢

##### 希望する結婚年齢の上昇傾向にほぼ頭打ちが見られる

未婚者が結婚したいと思う年齢(平均希望結婚年齢)は、ほとんどの年齢層において上昇が続いていたが、今回の調査ではおおむね上げ止まっており、男性ではわずかに下がる傾向も見られる。

図3-1 年齢別にみた、未婚者の平均希望結婚年齢の推移

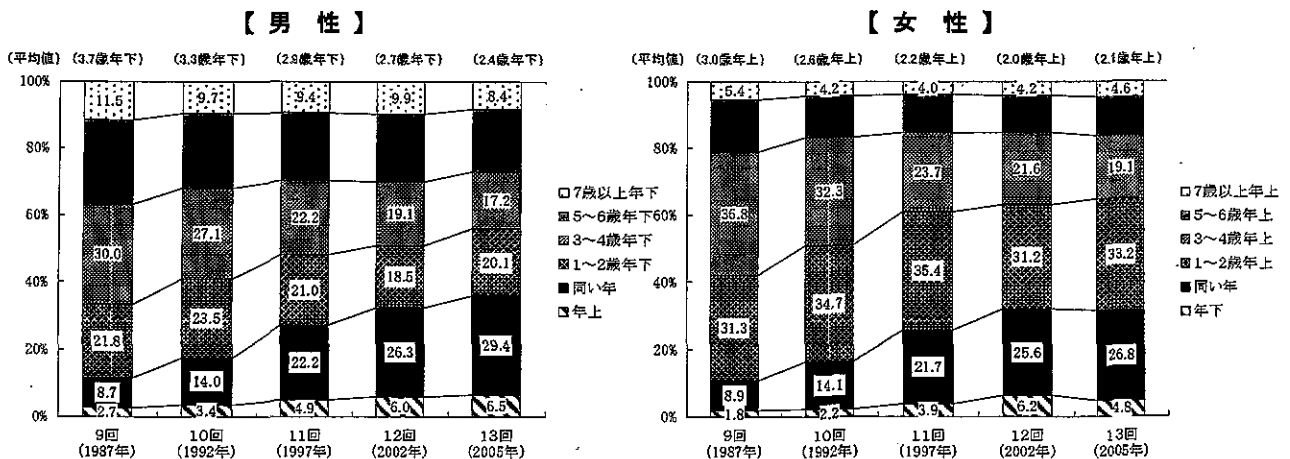


注：対象は「いずれ結婚するつもり」と答えた18~34歳未婚者。

##### 年齢の近い結婚相手を望む傾向、女性では一段落

結婚相手との年齢差についての希望を見ると、近年、男女ともに縮小傾向にあり、未婚者の間で年齢の近い相手(とりわけ同い年の相手)を希望する人が増えてきた。しかし、今回調査では女性でこの変化傾向に一定の休止が見られ、一段落を示している。

図3-2 調査・年齢別にみた、結婚相手との希望年齢差の構成



注：対象は「いずれ結婚するつもり」と答えた18~34歳未婚者。希望する結婚相手との年齢差は、対象者が希望する本人と相手の結婚年齢の差。不詳を除く構成。図の上部( )内は希望年齢差の平均値。なお、夫婦調査による実際の夫妻年齢差(調査時点より過去5年間に結婚した夫婦)は、第9回調査(1987年)2.9歳、第10回(1992年)2.6歳、第11回(1997年)2.4歳、第12回(2002年)1.7歳、第13回(2005年)1.7歳。



(3) 子ども数についての希望

未婚男女の希望子ども数は下げ止まり傾向

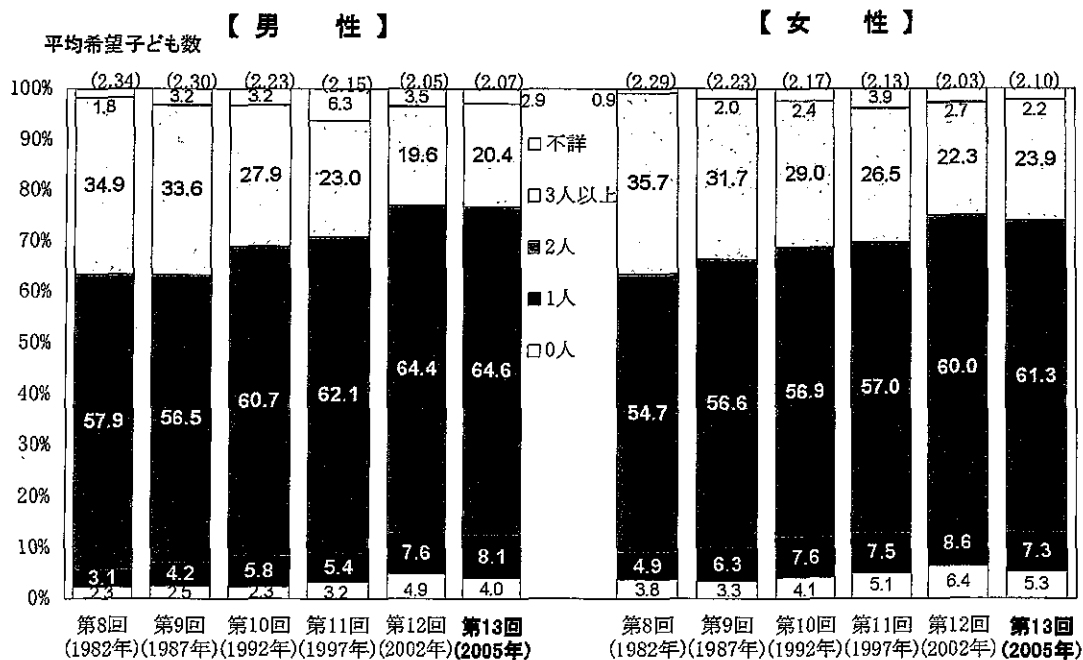
「いずれ結婚するつもり」の未婚者が希望する平均子ども数は1982年の調査開始以来減少する傾向にあったが、今回調査では男性2.07人(前回2.05人)、女性2.10人(2.03人)で、下げ止まりが見られた(表3-1)。希望子ども数の分布にも前回調査(2002年)からは大きな変化は見られない(図3-5)。また、希望子ども数は従来は男性の方が多い傾向にあったが、しだいに男女差が縮小し、今回は女性の数値が初めて男性を上回った。

表3-1 調査・年齢別にみた、未婚者の平均希望子ども数

【 男 性 】						
年齢	第8回調査 (1982年)	第9回 (1987年)	第10回 (1992年)	第11回 (1997年)	第12回 (2002年)	第13回 (2005年)
18～19歳	2.32	2.30	2.19	2.21	2.18	2.15
20～24歳	2.35	2.30	2.25	2.15	2.05	2.11
25～29歳	2.37	2.30	2.22	2.14	1.99	2.05
30～34歳	2.30	2.26	2.21	2.13	1.98	2.01
総数(18～34歳) (標本数)	2.34 (2,573)	2.30 (2,929)	2.23 (3,672)	2.15 (3,203)	2.05 (3,270)	2.07 (2,652)
【 女 性 】						
年齢	第8回調査 (1982年)	第9回 (1987年)	第10回 (1992年)	第11回 (1997年)	第12回 (2002年)	第13回 (2005年)
18～19歳	2.35	2.29	2.20	2.25	2.13	2.23
20～24歳	2.34	2.26	2.22	2.16	2.09	2.18
25～29歳	2.18	2.18	2.10	2.13	1.98	2.03
30～34歳	1.90	1.83	1.90	1.76	1.87	1.84
総数(18～34歳) (標本数)	2.29 (1,970)	2.23 (2,371)	2.17 (3,212)	2.13 (3,093)	2.03 (3,001)	2.10 (2,698)

注：対象は「いずれ結婚するつもり」と答えた18～34歳未婚者。平均希望子ども数は5人以上を5として算出。

図3-5 調査別にみた、未婚者の希望子ども数の分布



注：対象は「いずれ結婚するつもり」と答えた18～34歳未婚者。図の上部( )内は平均希望子ども数。

【付表】

付表1 調査・年齢階級別にみた生涯の結婚意思の構成比

生涯の結婚意思 年 齢	【 男 性 】						【 女 性 】					
	第8回調査 (1987年)	第9回 (1987年)	第10回 (1992年)	第11回 (1997年)	第12回 (2002年)	第13回 (2005年)	第8回調査 (1987年)	第9回 (1987年)	第10回 (1992年)	第11回 (1997年)	第12回 (2002年)	第13回 (2005年)
1. いずれ結婚するつもり												
総数(18~49歳)	95.9%	91.8	87.6	83.5	84.8	83.8	94.2%	92.9	86.6	86.0	85.2	86.1
18~34歳(小計)	95.9	91.8	90.0	85.9	87.0	87.0	94.2	92.9	90.2	89.1	88.3	90.0
18~19歳	96.0	90.0	87.5	85.5	88.4	88.4	95.6	93.5	88.8	87.6	85.8	89.5
20~24歳	97.1	92.6	90.9	86.7	88.3	87.7	97.5	95.1	92.0	90.7	90.9	91.5
25~29歳	95.8	93.9	92.0	87.1	86.3	88.0	92.5	91.8	89.9	87.1	87.7	91.8
30~34歳	92.4	86.9	87.0	80.9	83.8	83.7	72.7	75.6	83.8	88.7	85.1	84.3
35~39歳	-	-	80.5	80.1	81.1	81.8	-	-	63.0	69.1	76.8	73.3
40~44歳	-	-	66.7	71.4	74.1	70.0	-	-	42.9	46.7	52.9	57.8
45~49歳	-	-	50.0	51.4	63.4	53.6	-	-	27.8	36.4	38.1	45.6
2. 一生結婚するつもりはない												
総数(18~49歳)	2.3%	4.5	7.0	8.3	7.0	9.4	4.1%	4.6	8.5	7.2	6.9	8.5
18~34歳(小計)	2.3	4.5	4.9	6.3	5.4	7.1	4.1	4.6	5.2	4.9	5.0	5.6
18~19歳	1.8	5.7	6.2	7.2	5.0	5.2	2.6	4.7	5.5	6.1	6.1	7.2
20~24歳	1.2	3.6	4.5	5.5	4.7	6.8	1.9	2.8	3.9	4.1	3.9	4.6
25~29歳	2.9	3.6	3.2	5.5	5.3	6.9	4.0	5.6	5.5	5.4	4.2	4.1
30~34歳	5.1	8.3	7.5	9.6	7.3	9.0	23.6	16.9	12.6	5.5	8.5	9.2
35~39歳	-	-	11.0	12.5	9.3	10.9	-	-	29.0	20.8	9.5	16.9
40~44歳	-	-	25.4	18.5	15.1	17.0	-	-	49.2	33.3	28.7	29.2
45~49歳	-	-	44.4	32.0	23.9	34.3	-	-	60.8	46.6	37.1	41.7
3. 不詳												
総数(18~49歳)	1.8%	3.7	5.5	8.2	8.2	6.8	1.7%	2.5	4.9	6.8	7.9	5.4
18~34歳(小計)	1.8	3.7	5.1	7.8	7.7	5.9	1.7	2.5	4.6	6.0	6.7	4.3
18~19歳	2.2	4.3	6.4	7.2	6.7	6.4	1.9	1.9	5.7	6.3	8.1	3.3
20~24歳	1.7	3.8	4.6	7.7	7.0	5.5	0.6	2.2	4.2	5.2	5.2	4.0
25~29歳	1.4	2.5	4.8	7.4	8.4	5.1	3.5	2.6	4.6	7.5	8.0	4.1
30~34歳	2.4	4.8	5.5	9.5	8.9	7.3	3.6	7.5	3.6	5.8	6.4	6.6
35~39歳	-	-	8.5	7.3	9.6	7.3	-	-	8.0	10.1	13.7	9.8
40~44歳	-	-	7.9	10.1	10.8	13.0	-	-	7.9	20.0	18.4	13.0
45~49歳	-	-	5.6	16.6	12.7	12.2	-	-	11.4	17.0	24.7	12.6

設問「自分の一生を通じて考えた場合、あなたの結婚に対するお考えは、次のうちのどちらですか。」

1. いずれ結婚するつもり、2. 一生結婚するつもりはない

対象：18~34歳の未婚男女。参考として第10回調査以降について35~39歳の状況を示した。

付表2 調査・年齢階級別にみた結婚に対する考え方(年齢志向・理想志向)の構成比

調 査 年 齢	【 男 性 】				【 女 性 】			
	総 数 (標本数)	ある年齢ま では結婚 する	理想の相手 を待つ	不詳	総 数 (標本数)	ある年齢ま では結婚 する	理想の相手 を待つ	不詳
第9回調査(1987年)								
総数(18~34歳)	100.0% (3,027)	60.4	37.5	2.1	100.0% (2,420)	54.1	44.5	1.3
18~19歳	100.0 (541)	57.9	39.9	2.2	100.0 (601)	56.9	42.1	1.0
20~24歳	100.0 (1,355)	61.8	36.3	1.8	100.0 (1,271)	57.5	41.5	1.0
25~29歳	100.0 (785)	63.1	34.5	2.4	100.0 (427)	47.3	50.6	2.1
30~34歳	100.0 (346)	52.3	45.4	2.3	100.0 (121)	28.9	67.8	3.3
第10回調査(1992年)								
総数(18~34歳)	100.0% (3,795)	52.8	45.5	1.6	100.0% (3,291)	49.2	49.6	1.3
18~19歳	100.0 (739)	49.9	48.7	1.4	100.0 (780)	55.0	44.0	1.0
20~24歳	100.0 (1,673)	55.2	43.4	1.4	100.0 (1,640)	51.2	47.4	1.4
25~29歳	100.0 (953)	53.3	44.8	1.9	100.0 (664)	44.3	54.5	1.2
30~34歳	100.0 (430)	47.7	50.0	2.3	100.0 (207)	26.6	72.0	1.4
第11回調査(1997年)								
総数(18~34歳)	100.0% (3,420)	48.6	50.1	1.3	100.0% (3,218)	42.9	56.1	1.1
18~19歳	100.0 (531)	47.6	51.2	1.1	100.0 (531)	44.3	54.8	0.9
20~24歳	100.0 (1,460)	51.0	48.2	0.8	100.0 (1,591)	46.9	52.2	0.9
25~29歳	100.0 (1,001)	49.7	48.9	1.5	100.0 (791)	40.6	58.2	1.3
30~34歳	100.0 (428)	38.8	58.6	2.6	100.0 (305)	25.2	72.8	2.0
第12回調査(2002年)								
総数(18~34歳)	100.0% (3,389)	48.1	50.5	1.4	100.0% (3,085)	43.6	55.2	1.3
18~19歳	100.0 (624)	47.6	50.5	1.9	100.0 (507)	50.5	47.9	1.6
20~24歳	100.0 (1,240)	50.2	48.9	1.0	100.0 (1,267)	48.2	50.2	1.6
25~29歳	100.0 (970)	48.6	50.1	1.3	100.0 (888)	42.2	57.2	0.6
30~34歳	100.0 (555)	43.1	54.8	2.2	100.0 (423)	24.1	74.5	1.4
第13回調査(2005年)								
総数(18~34歳)	100.0% (2,732)	51.9	46.7	1.3	100.0% (2,759)	49.5	49.0	1.4
18~19歳	100.0 (373)	52.3	46.1	1.6	100.0 (484)	50.6	48.1	1.2
20~24歳	100.0 (899)	52.8	46.3	0.9	100.0 (1,086)	54.9	43.8	1.3
25~29歳	100.0 (902)	54.9	43.6	1.6	100.0 (766)	50.4	47.9	1.7
30~34歳	100.0 (558)	45.5	53.0	1.4	100.0 (423)	33.1	65.5	1.4

設問「同じく自分の一生を通じて考えた場合、あなたの結婚に対するお考えは、次のうちどちらですか。」

1. ある程度の年齢までには結婚するつもり、2. 理想的な相手が見つかるまでは結婚しなくてもかまわない

対象：「いずれ結婚するつもり」と答えた18~34歳の未婚男女。

第13回出生動向基本調査  
結婚と出産に関する全国調査  
夫婦調査の結果概要  
(一部抜粋)

国立社会保障・人口問題研究所

### 3. 子ども数についての考え方

#### (1) 理想子ども数・予定子ども数

##### 理想子ども数、予定子ども数ともに減少の傾向

夫婦にたずねた理想的な子ども数(平均理想子ども数)は、すべての結婚持続期間で前回調査を下回り、全体(総数)で初めて2.5人を下回った。また、夫婦が実際に持つつもりの子どもの数(平均予定子ども数)も、第9回調査(1987年)以降の低下傾向が継続し、前回調査を下回る2.11人となった。予定子ども数は、結婚後10年未満の若い夫婦で下げ止まっている一方、10年～19年の夫婦では低下が目立つ。

表3-1 調査別にみた、結婚持続期間別、平均理想子ども数

結婚持続期間	第7回調査 (1977年)	第8回調査 (1982年)	第9回調査 (1987年)	第10回調査 (1992年)	第11回調査 (1997年)	第12回調査 (2002年)	第13回調査 (2005年)
0～4年	2.42人	2.49	2.51	2.40	2.33	2.31	2.30
5～9年	2.56	2.63	2.65	2.61	2.47	2.48	2.41
10～14年	2.68	2.67	2.73	2.76	2.58	2.60	2.51
15～19年	2.67	2.66	2.70	2.71	2.60	2.69	2.56
20年以上	2.79	2.63	2.73	2.69	2.65	2.76	2.62
総数 (標本数)	2.61人 (8,314)	2.62 (7,803)	2.67 (8,348)	2.64 (8,627)	2.53 (7,069)	2.56 (6,634)	2.48 (5,634)

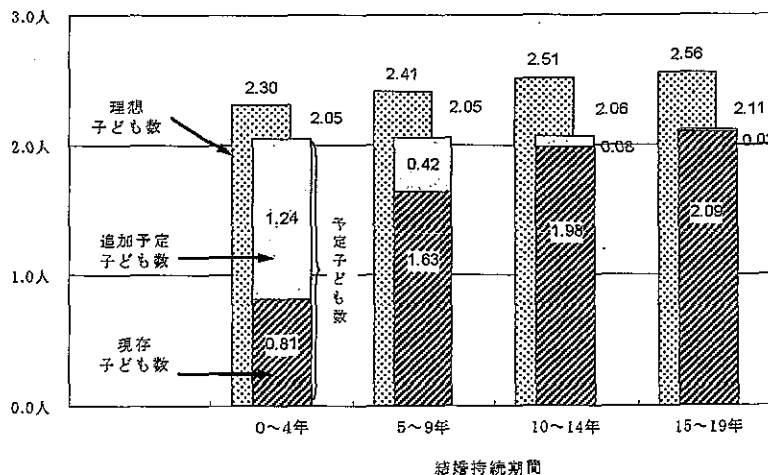
注：対象は初婚どうしの夫婦。過去の調査についても比較のために再計算を行なった。

表3-2 調査別にみた、結婚持続期間別、平均予定子ども数

結婚持続期間	第7回調査 (1977年)	第8回調査 (1982年)	第9回調査 (1987年)	第10回調査 (1992年)	第11回調査 (1997年)	第12回調査 (2002年)	第13回調査 (2005年)
0～4年	2.08人	2.22	2.28	2.14	2.11	1.99	2.05
5～9年	2.17	2.21	2.25	2.18	2.10	2.07	2.05
10～14年	2.18	2.18	2.20	2.25	2.17	2.10	2.06
15～19年	2.13	2.21	2.19	2.18	2.22	2.22	2.11
20年以上	2.30	2.21	2.24	2.18	2.19	2.28	2.30
総数 (標本数)	2.17人 (8,129)	2.20 (7,784)	2.23 (8,024)	2.18 (8,351)	2.16 (6,472)	2.13 (6,564)	2.11 (5,603)

注：対象は初婚どうしの夫婦。過去の調査についても比較のために再計算を行なった。

図3-1 結婚持続期間別にみた、平均理想子ども数と平均予定子ども数



注：表3-1、および表3-2から第13回調査の結果を図示。結婚持続期間20年以上は省略。

図3-2 調査別に見た、平均理想子ども数と平均予定子ども数の推移

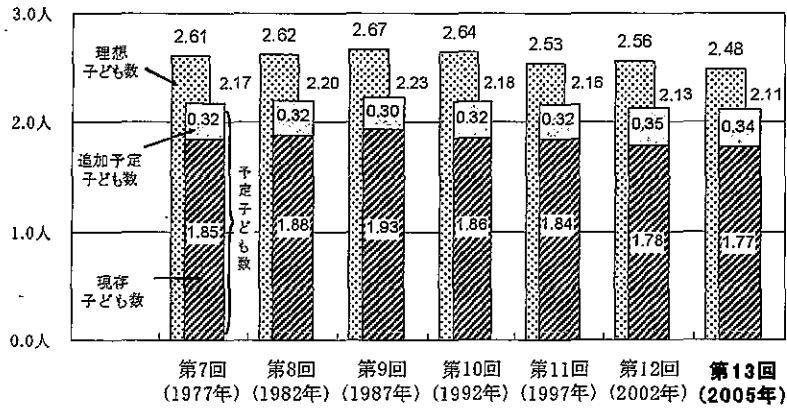
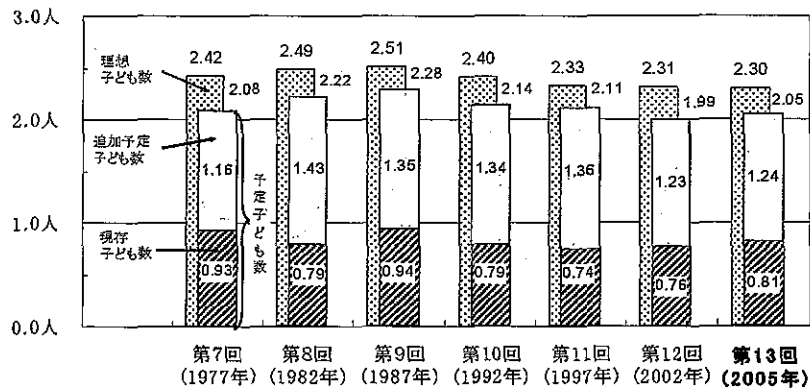


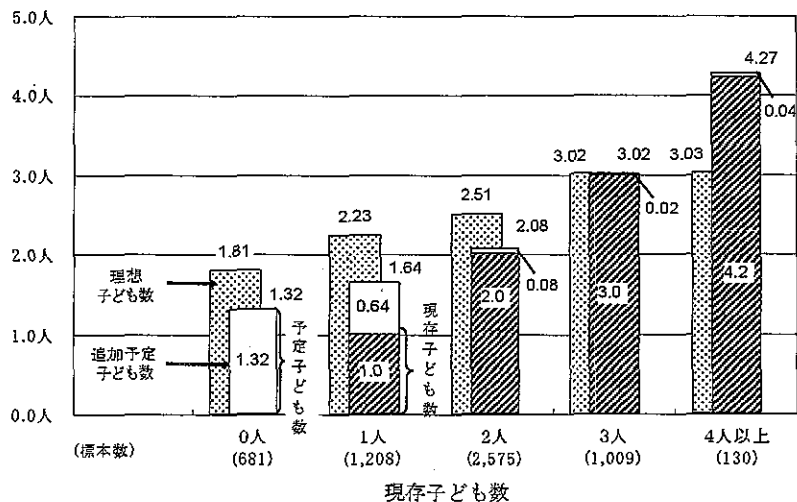
図3-3 調査別に見た、平均理想子ども数と平均予定子ども数の推移：結婚後0~4年



現存子ども数が2人以下の場合に、予定子ども数が理想子ども数を下回っている

すでに持っている子ども数と理想・予定子ども数の関係を見ると、子ども数2人までの場合には、予定子ども数が理想子ども数を下回っているが、3人の夫婦では平均として予定子ども数が理想とよく一致している。4人以上になると、理想子ども数が現在の子ども数を下回るようになる。

図3-4 現存子ども数別に見た、平均理想子ども数と平均予定子ども数



(2) 予定子ども数が理想子ども数を下回る理由

予定子ども数が理想子ども数を下回る理由：「お金がかかりすぎる」が最多

理想の子ども数を持たない理由は、「子育てや教育にお金がかかりすぎるから」が最も多く、とくに25～39歳の年齢層では前回調査より増えている。「自分の仕事に差し支える」という理由は、25～34歳層では2割を超える。また、30歳代までの層で「夫の家事・育児への協力が得られない」「夫が望まない」が前回調査より増えた(年齢別にみた前回調査との比較は巻末付表4を参照)。

**表3-3 妻の年齢別にみた、理想の子ども数を持たない理由  
—予定子ども数が理想子ども数を下回る夫婦について—**

(複数回答)

妻の年齢	標本数	子育てや教育にお金がかかりすぎるから	高齢で生むのはいやだから	肉体的負担に耐えられないから	これ以上、育児の心理的負担に耐えられないから	自分の仕事(勤めや家業)に差し支えるから	健康上の理由から	欲しいけれどもできないから	家が狭いから	夫の家事・育児への協力が得られないから	子どもがのびのび育つ社会環境ではないから	一番末の子が夫の定年退職まで生きないから	夫が望まないから	自分や夫婦の生活を大切にしたいから
25～29歳	(115)	83.5	6.1	20.0	27.8	4.3	7.8	20.0	20.0	16.5	5.2	13.0	13.0	
30～34歳	(329)	78.7	18.2	24.6	21.9	12.5	10.6	19.8	19.1	18.2	7.0	12.5	11.9	
35～39歳	(464)	75.0	40.1	26.5	17.9	16.4	16.8	17.9	17.0	16.2	8.0	9.7	8.6	
40～49歳	(897)	54.0	49.2	18.2	14.3	20.8	19.5	11.1	9.1	10.5	9.9	5.5	5.7	
総数	(1,825)	65.9	38.0	21.6	17.5	16.9	16.3	15.0	13.8	13.6	8.5	8.3	8.1	
第12回総数	(2,134)	62.9	33.2	21.8	17.1	19.7	15.7	14.6	12.1	20.4	9.6	7.2	11.5	

注：予定子ども数が理想子どもを下回る夫婦の割合はそれらの不詳を除く夫婦の35.3%である。25歳未満(20件)については掲載を省略。ただし総数にはこれを含む。全数値は付表4(巻末)参照。

多めの理想子ども数を実現できない理由は経済面、予定子ども数が少ないのは「できないから」

予定子ども数が理想を下回る場合、理想は3人だが予定は2人という組み合わせが過半数(55.3%)を占め、その差の理由では「お金がかかりすぎる」(74.7%)が多い傾向がある。次いで理想2人予定1人の組み合わせが2割(20.4%)いるが、その差の理由は「お金」(54.8%)が減る一方、「欲しいけれどもできない」(26.9%)が多くなる。概して予定子ども数が少数(0人、1人)にとどまっている夫婦では「欲しいけれどもできない」が主要な理由となっており、予定2人以上でそれより多い理想を持つ夫婦では「お金」や「家が狭い」など経済面の理由が多い。

**表3-4 理想・予定子ども数の組み合わせ別にみた、理想の子ども数を持たない理由  
—予定子ども数が理想子ども数を下回る夫婦について—**

(複数回答)

理想子ども数と 予定子ども数の 組み合わせ	予定子ども数が理想を下回る夫婦の内訳	(標本数)	理想の子ども数を持たない理由										
			子育てや教育にお金がかかりすぎるから	高齢で生むのはいやだから	肉体的負担に耐えられないから	これ以上、育児の心理的負担に耐えられないから	自分の仕事(勤めや家業)に差し支えるから	健康上の理由から	欲しいけれどもできないから	家が狭いから	夫の家事・育児への協力が得られないから	子どもがのびのび育つ社会環境ではないから	自分や夫婦の生活を大切にしたいから
理想1人以上予定0人	4.1%	(74)	21.6%	37.8	4.1	6.8	16.2	<b>58.1</b>	1.4	4.1	10.8		
理想2人予定1人	<b>20.4</b>	(372)	54.8	36.3	18.8	17.7	19.1	<b>25.9</b>	9.9	14.8	15.9		
理想3人以上予定1人	6.5	(119)	33.6	44.5	20.2	13.4	26.1	<b>41.2</b>	9.2	10.9	10.1		
理想3人予定2人	<b>55.3</b>	(1,010)	<b>74.7</b>	36.8	23.4	18.8	15.4	9.0	<b>16.0</b>	13.8	13.5		
理想4人以上予定2人	5.8	(105)	<b>80.0</b>	40.0	22.9	21.0	21.9	7.6	<b>27.6</b>	21.0	22.9		
理想4人以上予定3人	7.9	(145)	<b>72.4</b>	44.1	25.5	13.8	11.0	4.1	<b>23.4</b>	13.8	6.9		
総数	100.0	(1,825)	65.9	38.0	21.6	17.5	16.9	16.3	15.0	13.8	13.6		

注：総数で10%未満の理由は省略。